

## 事業評価調書（新規）

部課室名	農林水産部 農林水産局 水産課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	課長 楠 本 正 博 (課長補佐兼漁場整備係長) (近 藤 敬 三)	内線	4149 (4163)
------	--------------------	---------------------	------------------------------------------	----	----------------

事業種目	漁場整備開発	事業名	事業区間	総事業費	約4億円
		増殖場造成事業	但馬地区	内用地補償費	- 億円
所在地			事業採択 予定年度	着工予定 年 度	完成予定 年 度
但馬沖合			H17	H17	H20
事業目的			事業内容		
<p>但馬地区は、浅海域が狭く、天然礁にも恵まれないため、漁場が少なく、沖合漁業を基幹漁業として発展した。しかし、200海里時代の到来や、外国漁船の違法操業により、水産資源の減少が懸念されている。沖合漁業の最重要魚種であるズワイガニ資源の維持・増大を図るため、水深が約250mの海域にコンクリート礁、鋼製礁を設置し、産卵雌ガニの保護を目的とする増殖場の造成を行う。</p>			<p>対象生物：ズワイガニ 事業量： 400ha (コンクリート礁 224基) (鋼製礁 13基) 事業費内訳：国50%、県50%</p>		
評価視点	評価結果の説明				
(1)必要性	<p>本事業は、漁港漁場整備長期計画（H14～H18）において、兵庫北地区域の水産資源の維持増大を図るための主要な事業の一つとして位置付けられている。</p> <p>ズワイガニは、但馬海区全漁獲金額の3割以上を占める最重要魚種であるとともに、水産加工業にとっても欠かせない産物であり、当該魚種の資源水準の向上は地域水産業の活性化にとって重要な課題となっている。</p> <p>ズワイガニの漁獲量は平成10年以降1,000トン台を維持しており、平成初期の最悪期は脱したものの、昭和40年代の4,000トンの水準と比較すると依然として低位である。</p> <p>近年、但馬の水産業は、漁業生産量、漁業生産金額ともに低下しており、漁業経営は苦しい状況にある。このことから、高級なズワイガニの増産により、漁業経営の安定を早急に図る必要がある。</p> <p>当事業によって漁業生産量60トンの増産が期待され、沖合漁業が主幹産業である当地域の活性化の貢献が大きい。</p>				
(2)有効性・効率性	<p>当事業の実施により、年間の漁業生産量は60トンの増加が見込まれることから、費用便益比は5.77と算定され、有効な事業である。</p> <p>また、増殖場はズワイガニ資源の増大効果の高いことが実証されているため、漁業者の事業実施要望は強く、漁協、町の事業実施及び施設の維持管理に関する協力体制も確立している。</p>				
(3)環境適合性	<p>増殖場の造成は、生態系の保全、資源の増強にとって非常に有効である。</p>				
(4)優先性	<p>ズワイガニは、水産業のみならず地元民宿等の観光産業にも重要な魚種であり、ズワイガニの増産は、地域全体の活性化への貢献が期待される。</p>				